

第1学年「音楽」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析） ← 当面の間、昨年度の1年生の実態より転載

- 成果** ○ 歌を歌ったり音楽に合わせて体を動かしたりすることに楽しく取り組んでいる。
- 簡単なリズムを模倣して打つことができる。
- 課題** ▼ どなり声や叫び声で歌ってしまったり正しい音程が取れなかったりする。
- ▼ 楽器に触れる経験が少ない児童や、指を上手に動かすことが難しい児童がいる。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇低音と高音の声の出し方を変えてやわらかな声と正しい音程で歌えるようにする。
- ◇指番号を覚え、5本の指を使って鍵盤ハーモニカを演奏できるようにする。
- ◇拍感覚を養い、音楽や周りの友達に合わせて拍やリズムを打てるようにする。

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 階名唱で音程感覚を養ったり指の体操をして鍵盤ハーモニカ等の手指の動きをスムーズにしたりする。
- 音楽遊びや、リトミックなどから、音楽の基礎的な能力や感覚を身に着けさせる。

言語活動の工夫

- 鑑賞では、曲を聴いた感想を発表したり、体の動きで気分を表現したりして交流する。

I C T 活用の工夫

- 映像教材を活用する。
- 絵や写真、録画等を使ってわかりやすい授業にする。

課題解決力育成の工夫

- 音楽表現を考えて表現に対する思いをもたせる。
- 曲や演奏の楽しさを見い出しながら音楽を味わって聴けるようにする。

達成目標

- 児童が、音楽のよさや楽しさを感じて自分の思いや意図をもって生き生きと音楽表現できるようにする。
- 簡単な曲を鍵盤ハーモニカで弾いたり打楽器でリズム伴奏をつけたりする。